

日本倫理・哲学グランプリ 2019

【課題】

次の 4 つの課題文のうちから 1 つを選択し、後の「哲学エッセイを書くにあたって」を参考にしつつ、エッセイを書きなさい。

- ① 畏怖すべきものをすっかり国外に放り出してしまうようなことをしてはならない。死すべき命の人間の身で恐れるものが何ひとつないようになって、なお正道をふみはずさぬ者が誰かいるだろうか。

アイスキュロス

- ② 自然の中には何一つ偶然的なものは存在しない。一切は神の本性の必然性から一定の仕方存在したり作用したりするように決定されている。

スピノザ

- ③ 芸術作品は無限に孤独なものであって、批評によってほどこれに達することの不可能なことはありません。ただ愛だけがこれを捉え引き止めることができ、これに対して公平たりえるものです。

リルケ

- ④ 君たち人類の価値基準こそ、僕らは理解に苦しむなあ。今現在で 68 億人、しかも 4 秒に 10 人ずつ増え続けている君たちが、どうして単一個体の生き死にでそこまで大騒ぎするんだい？

アニメ「魔法少女まどか☆マギカ」

哲学エッセイを書くにあたって

哲学エッセイは、学校でよく課題に出るいわゆる「生活作文」（生活の中で体験したことについて自分が感じたこと、考えたことを書くもの）ではありません。そうではなく、ある問題やテーマに関して、自分なりに問いを立て、様々な角度から考察し、筋道立てて書くものです。評価のさいには以下のような点が重視されます。

- ・ 選んだ課題文に含まれるテーマや問題とどれくらい向き合っているか。
- ・ そのテーマや問題についてどれくらい深く考え、理解しているか。
- ・ 自ら問いを設定し、それに答えるべく論じ、結論を出しているか。
- ・ 主張や意見を述べるさい、なぜそう言えるのか、明確な理由を挙げているか。
- ・ 具体的で分かりやすく、説得力のある首尾一貫した論述になっているか。
- ・ 反対の立場も検討しつつ、自分の立場をはっきりさせて論じているか。
- ・ 自分なりの論点や考えを含んだ個性的なエッセイになっているか。

こんなことを言われても、実際にはどうすればいいのか分からないかもしれませんし、これらのポイントをすべて満たすなんて無理でしょう。でも、書きながら迷い、悩んでください。それでもチャレンジするのが大事です。

* 「倫理哲学グランプリ」のHPの「実績」をクリックすると、過去のメダリストのエッセイが読めます（青字で下線が引いてある人）。書く際に参考にしてください（<https://jpe-gp.org/result/>）。